

形名	FHR-91408N-PD9 (調光用)
適合ランプ	東芝蛍光灯ランプ<Hfユーライン>105ワット形

このたびは東芝蛍光灯器具をお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
この器具は電子安定器を採用しておりますので、電源周波数に関係なくご使用できます。

- ・照明機器の工事に関しては、電気工事の有資格者の施工管理が義務付けられています。

■安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

- ・工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

工事店様へ

施工上のご注意

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。	
・器具の取り付けは、本体表示並びに取扱説明書に従って行なってください。取り付けに不備があると器具落下、感電、火災等の原因となります。 ・本器具は屋内専用です。軒下などで雨水の降込みや湿気をおおる場所で使用しますと火災の原因となります。 ・電源線接続の際は、⑤ 器具本体の取り付け③に従って確実に行なってください。接続が不完全な場合は、接続不良による発熱、火災、感電の原因になります。	・アース工事は電気設備の技術基準に従い確実に行なってください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。 ・器具を改造したり、部品を変更して使用しないでください。器具落下、感電、火災等の原因となります。 ・この器具は、断熱施工不可です。断熱施工される場合、③ 断熱材・防音材の施工法に従って施工してください。施工に不備があると火災の原因になります。
	
	
	
	

お客様へ

使用上のご注意

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。	
・ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。 ・ランプの端部が黒ずんだり、暗くなった時は、早めに交換してください。ランプ交換の際は、必ず本体表示並びに取扱説明書通りの種類・ワット(W) 数の適合ランプをご使用ください。間違った種類・ワット(W) 数のランプを使用した場合は、過熱により器具が変形、変色したり火災の原因となります。(電源を入れた状態でランプ交換を行うと、ランプが点灯しない場合があります。)	・ランプや器具を布や紙などの可燃物で覆ったり、被せたり、燃えやすい物を近づけたりしないでください。火災の原因になります。 ・点灯中及び消灯直後は、ランプ及び器具が高温になっておりますので、手を触れないでください。やけどの原因になります。
	
	
	
	
⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。	
・器具を清掃する際は、乾いたやわらかい布か、水で湿したやわらかい布をよく絞ってから拭いてください。 ・器具を清掃する際は、ソケット等の樹脂部には、水、洗剤、薬品などは使用しないでください。部品の劣化や感電の原因になります。 ・ランプを清掃する際はランプを器具から外して乾いた布で拭いてください。	・器具を清掃する際は、乾いたやわらかい布か、水で湿したやわらかい布をよく絞ってから拭いてください。 ・器具を清掃する際は、ソケット等の樹脂部には、水、洗剤、薬品などは使用しないでください。部品の劣化や感電の原因になります。 ・器具を清掃する際は、ソケット等の樹脂部には、水、洗剤、薬品などは使用しないでください。部品の劣化や感電の原因になります。
	
	
	
	

⚠ お願い

- ・ラジオ、ワイヤレス方式の機器は、なるべく照明器具から離してご使用ください。雑音が入る場合があります。
- ・点灯直後、ランプが一瞬明るくなる場合がありますが器具、ランプの異常ではありません。
- ・調光時、ランプに薄い縞模様が発生する場合がありますが異常ではありません。

■調光制御装置の施工上の注意

下記の調光制御装置をご使用して調光を行うことができます。

調光制御装置と組み合わせてご使用になる場合は次の点にご注意ください。

I. SESLをご使用の場合

①SESLは必ず下記に示す適合電圧の製品をご使用ください。

・あかりセンサータイプ

DF-20206XD7 (100V～242V用)、DF-20207XD7 (100V～242V用)、DF-20204MXD7 (100V～242V用)

・あかり+人感センサータイプ

DF-20206ZD7 (100V～242V用)、DF-20207ZD7 (100V～242V用)、DF-20204MZD7 (100V～242V用)

・パネルタイプ

DF-20301-PD7 (100V～242V用)

②「電源線(2線)、調光線(2線)」が必要になります。

③電源線は、SESL用と器具用の2系統必要となります。

II. コントルクス (FL コントルクスPD) をご使用の場合

①FLコントルクスPDは必ず下記に示す製品をご使用ください。

・DF-70162-PD (100V～242V用)

②その他のコントルクスとは適合しません。

③「電源線(2線)、調光線(2線)」が必要になります。

④コントルクスと照明器具との総配線長は200m以下としてください。

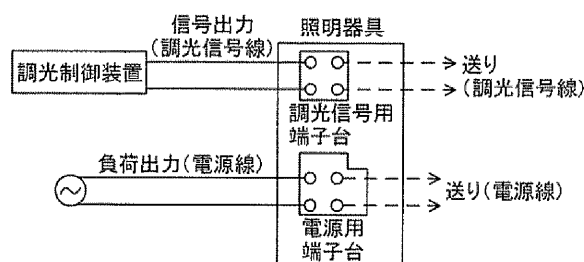
・その他SESL、コントルクスの施工上の注意についてはそれぞれ個別のサービス図面

または、取扱説明書をお読みください。

・器具への結線の際、電源用と調光信号用の端子台を間違わないよう接続してください。

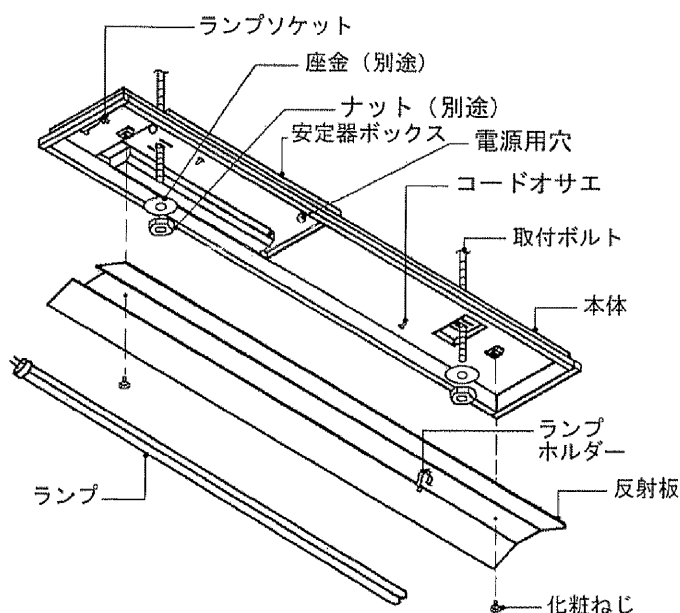
「誤結線しますと安定器が壊れます。」

・調光信号線はφ0.9, φ1.2の軟銅線(GPEV)または警報用信号線(AE線)をご使用ください。



調光制御装置との結線図

■各部のなまえ



器具質量
4.3kg

■ Cチャンネルの回避について

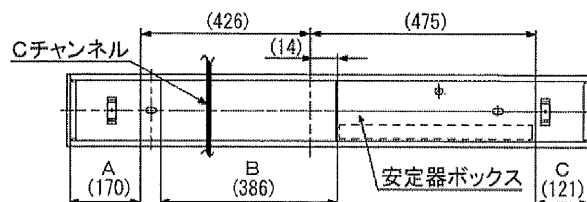
- ① Cチャンネルが器具と直角の場合、Cチャンネルが回避できます。(A, B, C)
Cチャンネルが安定器ボックスの外郭に当たるときは器具を反転することにより回避できます。

取り外し可能
ランプソケット

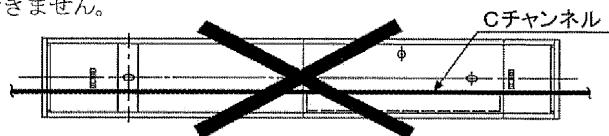


- ② Cチャンネルの回避のため反転した器具はランプの方向を変えることができます。ランプソケットを本体からスライドさせて外し、確実に反対側へ取り付けてください。その際には電線をコードオサエより外し反対側のコードオサエにて確実に本体に固定してください。

※ 反射板に電線がはさまらないようにしてください。
不備がありますと、火災、感電の原因となります。



- ③ Cチャンネルが器具と平行の場合、回避することはできません。

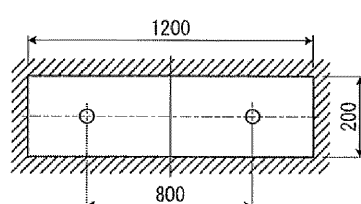


(単位mm)

■ 器具の取り付けかた

1 器具の埋込穴と取付ボルト位置

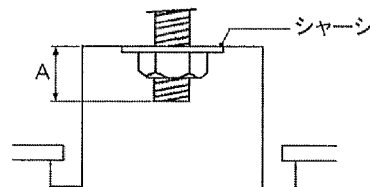
埋込穴をあけ、そのまわりに野縁を組み込んでください。



単体取付

2 器具取付ボルトの器具内寸法

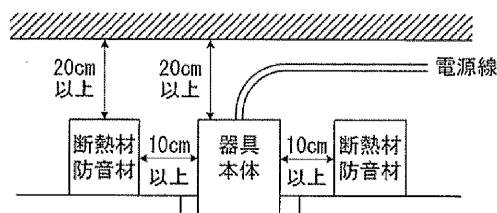
A寸法は、18mmを超えないようにしてください。



3 断熱材・防音材の施工法

(住宅の断熱施工天井ではご使用出来ません。
住宅以外の断熱施工天井でご使用の場合の施工方法。)

- 電気配線は断熱材防音材の上側にくるように配線してください。
- 器具本体に電源線を接触させないでください。



4 器具の取り付け準備

化粧ねじをはずして反射板を取り出してください。

5 器具本体の取り付け

- ① 本体の電源用穴に付属のプッシュをはめ込み電源線、アース線を通してください。
- ② 本体を取付ボルトに確実に取り付けてください。
(取付けボルトはW3/8またはM10を使用し座金を必ず入れてください。)

不備がありますと、器具落下の原因となります。

(注) 取付ボルト部のナットを締め過ぎますと、器具が変形する場合がありますので
器具本体の縁部が天井面に密着したところで締め付けをおやめください。

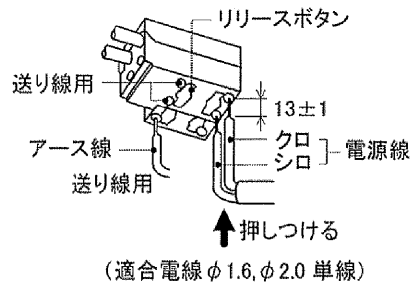
■器具の取り付けかた

- ③ 電源線、アース線を端子台に確実に差し込んでください。
リリースする場合は、必ずリリースボタンをドライバーで押し込んで線を引き抜いてください。
※ 電源線、送り用VVFケーブルは安定器に接触しないように施工してください。

不完全な場合とリリースボタン以外を押した場合は、絶縁劣化や接続不良による発熱、火災、感電の原因となります。

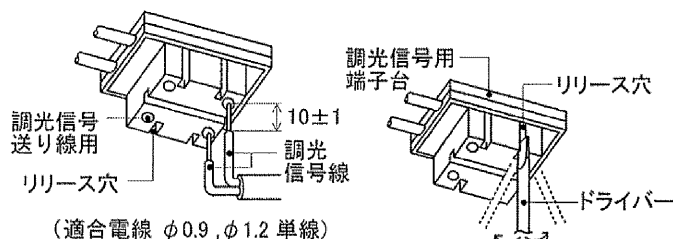
端子台の容量は20Aです。

容量を超えると発熱、火災の原因になります。



- ④ 調光信号用端子台に調光信号線を差し込んでください。
調光信号線はφ0.9, φ1.2の軟銅線(CPEV)または警報用信号線(AE線)をご使用ください。
リリースする場合は、リリース穴にマイナスドライバーを押し込んで線を引き抜いてください。

(注) ドライバーは端子台に垂直に押し込んでください。押し込み後、ドライバーを強く傾けると端子台が破損する場合があります。



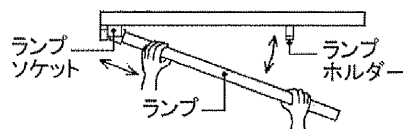
- ⑤ 電源線、アース線、調光信号線の挿入部は、反射板との当たりを防ぐため小さく曲げ、端子台に押しつけてください。

- ⑥ 反射板を本体に確実に取り付けてください。

不備がありますと、落下の原因となります。

反射板を化粧ねじで本体に取り付けてください。

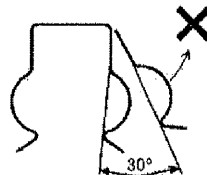
- ※ 反射板を強く押すと変形することがあります。



- ⑦ ランプを斜めにランプソケットに確実に差し込んでください。(必ずランプのランプホルダーとランプソケットの近くを両手で持って行なってください。) ランプをランプホルダーに確実に押し込んでください。ランプを取りはずす場合は、取り付けかたの逆の順序で行なってください。

不備がありますと、落下の原因になります。

ランプホルダーを30°以上広げないでください。
変形によるランプ落下の原因となります。



修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック照明ご相談センター

0120-66-1048 (通話料：無料)

受付時間：365日 9:00~20:00

携帯電話・PHSなど 046-862-2772 (通話料：有料)

FAX 0570-000-661 (通話料：有料)

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社へ、お客様の個人情報を提供することがあります。

保証について

- ・保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯器具・HID器具の安定器(インバータバラスト含む)については3年間です。
- ・ランプ、点灯管、電池などの消耗品やセード、リモコン送信機は対象外です。
- ・24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。

東芝ライテック株式会社

照明器具事業部

〒237-8510 神奈川県横須賀市船越町1-201-1

TEL (046) 862-2092
FAX (046) 861-8796

お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。

001X2416